

第1回市民コレクション展

チョウの魅力をもとめて

BUTTERFLY



2001年2月3日(土) ▶ 2月25日(日)
2月3日(土)は午後1時からの公開となります。

記念イベント

- ◆2月3日(土) 記念シンポジウム 午後1時30分～3時30分
(内容) ●基調講演「茨城のチョウ 今と昔」
講師：廣瀬 誠氏 (茨城虫の会代表)
●ディスカッション
テーマ「チョウを通して未来が見える」
市民コメンテーターによる意見・体験発表
及びフリーディスカッション(意見交換)

※上記のイベントは、事前申込制となっております。
お電話にてお申込み下さい。

後援 ミュージアムパーク
茨城県自然博物館友の会

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日
(但し2月12日(月)は開館し、翌13日(火)が休館)

入館料 大人 520円(420円)
高・大生 320円(200円)
小・中生 100円(50円)

※()は20名以上の団体料金です。
※65歳以上・障害者手帳持参の方は入館無料です。
※この料金には、常設展・野外施設入場料が含まれています。
※第2・第4土曜日は、小・中・高校生は入館無料となります。

次回企画展
「とぶ・飛ぶ・翔ぶ」
—高さと広さを求めた動物たち—
2001年 3月17日(土)～6月17日(日)



ミュージアムパーク
茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県岩井市大崎700番地 TEL0297-38-2000
ハローダイヤル 029-226-8600 #8886 (プッシュ回線)
ホームページアドレス <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

第1回市民コレクション展

「チョウの魅力をもとめて」

＜チョウに魅せられた人々＞

誰もが、野山や田んぼなどで夢中になって昆虫採集をした時期があると思います。人の心をわくわくさせる昆虫たち。今回は、そんな昆虫の魅力に惹かれた人々と夢をあたえつけてくれる昆虫～チョウ～たちが主役です。

展示では、だれもがその神秘的美しさに魅了されるチョウの標本数千点をはじめとした様々な昆虫標本でその魅力に迫り、あわせて地域に根ざした市民収集家や昆虫研究家の様々な研究・活動の成果を広く紹介します。



つくば市ゆかりの森昆虫館周辺では、オオムラサキなどが自然の姿で観察できる

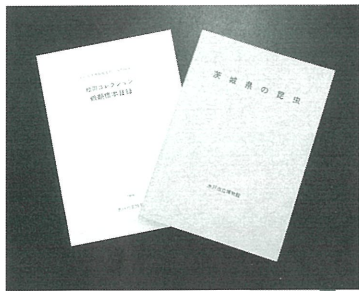


牛久自然観察の森には、将来の昆虫博士が集まる

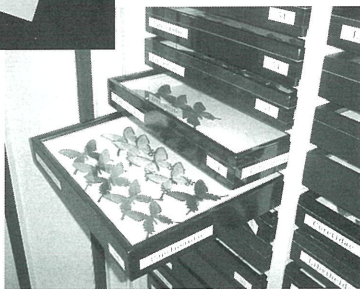
地域の昆虫誌は、その地に生活し、観察をしている市民採集家や研究家の地道な活動があってこそ、徐々に解明されていくものです。

＜今後の博物館活動と市民参画展の役割＞

今回の展示は、茨城県自然博物館で開催する初めての市民参画型展示会であり、地域に根ざした活動を行っている昆虫同好会の方々など、多くの市民の方にご協力を得て行うものです。これを機会に多くの県民・市民の方々の積極的な博物館活動への参画の布石となることを望み、さらには、地域の自然誌研究に新たな、そして大きな流れが生じることを期待しています。



水戸市立博物館で発行した「茨城県の昆虫」と「松岡コレクション 蛾類標本目録」



ミュージアムパーク茨城県自然博物館の収蔵庫



1990年代後半より茨城県南部で相次いで記録されたクロコノマチョウ

主な展示内容

- チョウの世界へようこそ
チョウの体のつくり、動物地理区別の昆虫、アゲハチョウ拡大模型
- 世界のチョウ・日本のチョウ
東南アジア産チョウ、コスタリカ産チョウ、日本列島周辺のカラスアゲハ、茨城のチョウ、博物館寄贈標本、トピック：ワシントン条約、モルフォチョウの翅、昆虫採集苦労話など
- 昆虫採集の方法
昆虫採集用具、昆虫収蔵用具
- 町の昆虫研究家が支える昆虫誌
理科自由研究作品、茨城昆虫同好会、茨城虫の会、水戸昆虫研究会、つくば昆虫談話会、水戸市立博物館、つくば市ゆかりの森昆虫館、牛久自然観察の森、茨城県自然博物館
- 思い出の一品
在野の昆虫研究家が集めた思い出のチョウ類標本
- 身近な博物館を目指して
博物館の仕事、博物館の役割

交通ご案内

《車利用の場合》

- 常磐自動車道谷和原I.C.から20分
- 古河方面から境町経由50分
- 下館方面から下妻市経由1時間10分
- 土浦方面から水海道市経由1時間

《鉄道・バス利用の場合》

- JR柏駅で東武野田線乗り換え、東武野田線愛宕駅～茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車～「自然博物館入口」下車、徒歩10分



絶滅が心配されるアカエリトリバネアゲハ

